

# STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

## ただ今留学中

現在、3名の本校生が海外に留学しています。年末に送られてきたメールを紹介します。

### 12月はテスト、そしてクリスマス

I2-1 廣部さくら

ロータリークラブ交換留学プログラム

留学先：Les Ursulines - La Madeleine (ベルギー)

留学期間：2011.8.20 ~ 2012.6.20



11月にロータリーの機関で留学している人を集めて、自国の料理をふるまうという行事がありました。私は炊き込みご飯とちらし寿司のおにぎり・肉じゃが・焼きそばそしてお好み焼きを作りました。いろんな国の子やホストファミリーの方々にとっても喜んでもらったので本当に嬉しかったです。何より、日本食ブームの影響はすごいなと改めて感じました。

そして、普段食べることのできないペルーやメキシコ、ブラジルなどの料理も経験できたのでとても嬉しかったです。外国の料理と日本の料理を比べると、やっぱり日本の料理は茶色が多いなと感じました。(笑)

12月の初めには、友達と家族とドイツのクリスマスマーケットに行ってきました。ドイツはクリスマスを盛大に祝う国として有名らしく、とてもイルミネーションが綺麗でし

た。街の中央に小さなクリスマス限定のお店が並んでいて、とても可愛いく、楽しかったです。このようなクリスマスマーケットは私の街でもやっけていて、たくさんの人が集まるので会話をしたり踊ったりして、とても楽しいです。

12月の学校はテストモードでした。ほとんどの学生は全部で8教科のテストがあります。しかし、日本の学校のように1日に何教科もテストするのではなく、1日1教科で2時間も問題を解く時間があります。それなのに問題数はすごく少ないのにはとてもびっくりしました。

テストが終わり、街や人々はクリスマスモード一色になりました。外国のクリスマスを体験することはなかなか無いことなので、思っきり楽しみたいと思います。クリスマス以外にも12月と1月は楽しい行事がたくさんあるので、本当に楽しみです。

2011.12.14 受信

### 時間の流れがゆっくり

I1-1 小松 葉月

姉妹校交換留学プログラム

留学先：Grand Rapids Christian High School

留学期間：2011.8.26 ~ 2012.3.20

こんにちは、小松です。

日本も最近寒いそうですね。こっちは、寒いのですが、雨ばかり降ります。雪が降りませんが、ついこの間少し積もった程度です。毎年この季節になると、見渡す限り真っ白なのに、何か降らないそうです……。憧れのホワイトクリスマスは来ないのでしょうか……。

さて、私の近況ですが、重大な報告をせねばなりません。ホストファミリーが変更になりました。変わるまでの詳しい経過などは、

また日本に帰った時に説明させてください。



では、新しいホストファミリーの紹介を少しします。ホストファーザー、ホストマザー、ホストシスター（結婚していて、二人目妊娠中）、ホストシスター（家を出て働いています）、ホストブラザー（大学生）、ホストシスター

（2つ年下で、city high school 在学）と、黒い猫ちゃんです。

次は、11月のお話をさせていただきます。11月、多分家移ってすぐの頃、Thanksgivingday（感謝祭）というのがあって、学校が2週間休みでした。その感謝祭当日、たくさんの方が家に集まって、みんなで料理を食べました。その料理というのがすごかったんです。七面鳥の丸焼きみたいなのと、そのほかいろいろな料理が出ました。食べられないものも多かったんですけどね・・・。そのほか、みんなで話したり、カードゲーム（一回も勝てませんでした）をしたり、楽しく過ごしました。

学校では、美術の授業で『自分の主義主張をポスターにする』というプロジェクトをやっていてその題材を決めるのに大苦戦しました。主義主張って何？から始まりました。まあ、先生をはじめとして同じクラスの生徒さん方が助けてくださったので題材は決まりました。

そして、この間、学校でクリスマスポップコンサートがありました。合唱、オーケストラ、吹奏楽のクラスが合同で舞台上で演奏をしました。3時間舞台上に座りっぱなしです。その時、私ははじめてオーケストラに参加しました！すごくすごく緊張しました。

オーケストラといえば、最近教会のオーケストラにも参加させていただきました。そこで GRCHS 出身のおじさん（トロンボーン奏者）とホストシスターとすごく盛り上がりました。

最近、本当に、本当に少しずつですが、英

語でしゃべれるようになってきました。もっともっとしゃべれるように、残り半分、がんばっていきたいと思います。

では、みなさん体調には重々気を付けて、よい年末をお過ごしください。メリークリスマス！ 2011.12.16 受信

## ベルギーで新発見、学校の違い

I 2-1 大崎 恭平

ロータリークラブ交換留学プログラム

留学先：College Notre-Dame de la Paix（ベルギー）

留学期間：2011.8.20～2012.6.20



ベルギーへ来て早いもので4か月が過ぎました。

今のところ、近況としましてはとても良好です。フランス語も日々の勉強が実を結び、日常の会話は話すことができています。11月、12月は特に勉強に力を入れた月でもありません。

それは学校で学んでいることだけでなく、ベルギーの抱えている問題なども少しばかり知ることができました。日本でもニュースになっていたようですが liege（リエージュ）という町で無差別殺人が起こりました。犯人はベルギーに移住してきた移民でした。

今回がたまたま移民の犯行であったというとらえ方もできるでしょうが、実際のところ銃の購入台数が年々増加の傾向をたどり、ベルギーの人口の2割強が移民であるということです（トルコ、イラク、アルバニア）。しかし、移民の方々が経済を発展させているという長所もあります。なんともいえない状況が続いていると、私はそういう解釈をしています。

事件の朝はその現場に居合わせていた人達は阿鼻叫喚（あびきょうかん）そのものでした。自分はその事件の次の日 liege へ行く予定

があったので、銃を身近に感じる恐怖や不安が少なからずありましたが、日本は安寧秩序の国だと再確認することができた機会となりました。

また、ベルギーでは高校 2 年生で大学へ進学します。はじめ聞いたときに驚いたことがありました、それはテストがないことです。たとえ全く勉強をしていなくても医学部、法学部へ行くことが可能で、それは学力が高い大学でも同じということです。しかし、難関大学や難しい学科へ行った学生の 6、7 割は一年以内に自主退学するそうです。

日本で普通に行っている進路指導や進路についての心配などは全く無いらしいのです。一口に「このやり方はいけない」とは言い難いですが、ベルギー独特だなと思います。

12 月も終わりにさしかかり、特に雪も降ることもなくクリスマスが終わってしまいました。これからもベルギーでしか感じることのできない暮らしや考え方を日々学んでいきたいとおもいます。 2011.12.29 受信

\*\*\*\*\*

## 卒業生からの留学レポート

No. 149 で紹介した、本校卒業生の保知一樹君から、カナダ留学を終えてのレポートが届きましたので紹介します。

## 日本の大学生とカナダの大学生の違い

卒業生 保知 一樹

関西外国語大学在学中

2006 年近江兄弟社中学校卒業

2009 年近江兄弟社高校卒業

留学先：サスカチュワン大学（カナダ）

期間：2011.3.29 ～ 12.13

伊吹先生お久しぶりです。いかがお過ごしですか。こちらは 11 月頃から雪が降り、日中の最高気温がマイナス 10 度になるなどカナダらしい気温となっています。

12 月 9 日の金曜日に無事サスカチュワン大学の ESL での全てのプログラムを終えました。ESL の最高クラスの UP2 を終えると現地の大学に進学することができます。そのため UP2 での勉強は今までと違い本当に大変でした。

10 月の最初から始まった UP2 のクラスでは生徒たちはタームペーパーというものに取り組んでいました。タームペーパーというのは期末レポートというもので、生徒はトピックを先生からもらいレポートを仕上げていくと

いうものです。今回のクラスは環境に関するレポートを作ることで、そして私が選んだトピックはエコツーリズムの利点についてでした。各自別々のトピックをもらうので個々で取り組むことが多く、夜 10 時まで図書館に籠ることがよくありました。タームペーパーでは引用、参照をすることになっているので、図書館に行って自分のトピックにあった本を探したり、インターネット上で関連する記事を探したり、ソースを見つけるのにまず苦勞しました。毎日細かい文字の羅列を 10~20 ページ読み、マーカーでアンダーラインしたり、まとめのノートを作ります。それを先生に提



ファイナルパーティーでソーラン節を関西外大のみんなとやりました。とても喜んでもらえました。



ホストマザーと中国からのルームメイトです。8 か月間たくさんお世話になりました。

出し、タームペーパーに使えるソースかどうか確かめてもらいます。ここでよく起こったのが、記事の内容が主題からそれていたり、利点について述べているはずが欠点についても述べられていてソースとして強くなっているなどです。ちょっとした統計を見つけるのに一週間かかるなど、このタームの最初は大変でした。実際に私が取り組んだものはエコツーリズムの利点、というもので二つの要

点に絞りました。エコツーリズムが地域経済にどのようにして利益を生み出しているかと、生態系にどのような影響を及ぼしているかに焦点を当てました。色々な国のエコツーリズムの取り組みについての記事を探し、どれだけの人がエコツーリズムにより雇用機会を得たのかや、イルカや野鳥などの生態が回復しているのかなどを見つけることができました。これらのソースを基にしてタームペーパーに取り組みました。

タームペーパーを仕上げた後は、その自分の取り組んだトピックについてのプレゼンテーションをすることになっています。このプレゼンテーションでは生徒はグラフやアウトラインをポスターやオーバーヘッドに作り準備する必要があります。長さは10分で、いかにして聴衆を引きつけるかがポイントです。またビジュアルエイドを準備することも必須でした。あるクラスメイトはグリーンビルディングという環境に優しい建物について調べていて、プレゼンテーションでは実際にグリーンビルディングの模型を作るなどして発表していました。このように自分の調べたことをただ発表するだけでなく、聴いている人に理解してもらうようにしないとイケませんでした。

UP2 のクラスでもう一つ大きい授業のレク



大学でのレクチャー後、クラスメイトとのディスカッションとノートの見せ合い。実際の大学生もテスト前にこのようにグループで集まるようです。

チャープロジェクトというものがありました。レクチャープロジェクトとはESLの学生が実際に現地の学生が大学で受けている授業を受け、その講義について理解することです。約50分から60分の長さの講義で、メモを取るのにノートを10ページほど使いました。講義中に出てくる難しい単語や言い回しをメモして後でクラスメイトと話し合ったり、ノートの見せ合いをしたりします。日本の大学と違いメモを取る量が多いです。テストもそのメモから出ることが多くあるので、教授の言う一語一語がとても大切になり、一秒たりとも気が抜けません。この授業は私にはとても有益なものになり、日本の大学でもこのようにして取り組まないといけないと実感しました。

あと数日でサスカトーンを発つことになっています。ここでは多くのものを学びました。日本の大学生とカナダの大学生の違いはとても大きく、見習うべきものがたくさんありました。授業に対する熱意、目標をしっかり持つこと、計画を持って課題に取り組んでいる姿勢を、ここの大学で発見しました。これらの発見をただの発見にするのではなく、帰国後の学生生活の手本にし充実した生活を送るようにしたいと思っています。そして自分の将来、夢に向かってもっと精進していきたいです。

\*\*\*\*\*

## 懐かしい留学生からの便り

一昨年9月から昨年3月まで本校に滞在したシルバン君から手紙が届きました。現在は、フランスのグルノーブル・スタンダール大学1年生です。

## 夏に日本に「帰国」します

Sylvain Coulange (シルバン)

AFS 年間交換留学生

出身国：フランス

滞在期間：2010.9.1 ~ 2011.3.18

近江兄弟社の国際部の皆様へ。

去年はお世話になりました。色々有り難うございました。フランスのシルバン（彗星蘭）です。ご無沙汰しております。如何お過ごしでしょうか。こちらは大学一年生の生活を楽しんでます。英語・日本語を専攻して、中国語、ドイツ語とロシア語の授業を受けて、色々勉強しています。三年生になったら日本に留学に申し行くことができるので、とても喜んでます。こちらの大学では、福岡から来た留学生の彼女ができて、九州大学とかにいくかもしれないけれど、絶対に関西の方に皆様に会いにいきます！今年の夏にも二ヶ月くらい日本に帰国することにしました。その時にお目にかかれたら幸いです。寒さが厳しい日が続いていますが、お体に気をつけてください。



2012年1月18日